

かずさ

日本ボーイスカウト
上総地区

30号

発行日
2013. 10. 1

発行：関口 陽市（地区委員長） 編集：運動拡大委員会（委員長 山本 勲）

第16回日本ジャンボリーに参加して

2013年7月31日（水）～8月8日（木）の9日間、第16回日本ジャンボリー／第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリーが山口県山口市阿知須きらら浜で開催。千葉県連盟からは15隊の派遣隊が編成され、上総地区は千葉11隊として参加しました。



第16回日本ジャンボリーが無事終了し、大きな事故もなく元気に帰隊出来たのは、副長・保護者をはじめ多くの方の御協力と御支援の賜物と深く感謝しております。現地では、瀬戸内海特有の暑さと湿度に多くのスカウトが体力を奪われました。しかし、その中でも楽しむ事を忘れず、開会式・アリーナショー・閉会式と心に残る思い出と、ザック一杯のお土産話を持ち帰る事が出来ました。ぜひ、次の大会には全員が参加して大いに楽しみ、世界中の仲間と語り合い更なる成長を期待します。（千葉11隊隊長 一木 通夫・市原1）

初めてのジャンボリーが期待と不安が交差する中開幕を迎えました。スカウト達も期待と興奮の中で、暑さや寝不足で体調不良を訴えるもの、ゲリラ豪雨で、テントが浸水しうなだれるものなどと、いろいろな事が起こりましたが、それらをのりこえていく中で一

番辛い選択もありました。しかし、日々成長するスカウトを見ながら、閉会式の花火を見上げた時、体が震え胸が熱くなってくるのを感じました。この感動を胸にきざみ、山口を後にします。

（副長 井上 啓一・市原6）

うだるような暑さと突然のゲリラ豪雨。過酷な環境でしたが、ボーイスカウト隊ベンチャースカウト隊の混成班もこの雨により絆を深める事ができました。様々なイベントや交流は魅力あふれ刺激的だったと思います。親元を離れ9日間生活することは寂しさや、辛いこと、楽しいことばかりではなかったと思いますが日1日と陽に焼けて精悍に、笑顔が輝いていくのを見ることができたのが私にとって一番嬉しかったことです。この経験と出会いは一生の宝物です。ここでできた仲間はずっと大切にしてほしいと思います。

（副長 遠藤 ひろみ・茂原2）

「ただいまより、第16回日本ジャンボリーのアリーナショーを開催致します！」8月4日午後4時、アリーナショーが始まった。スカウト達の心は弾んでいたが、体は全身びしょ濡れだった。会場へ向かう途中でゲリラ豪雨に晒されたからだ。一旦ドームへ避難したが、その後はそのままアリーナショーを見ることになった。キャンプサイトへ戻ったのはアリーナショーが終わった夜8時であり、その後すぐに豪雨で潰れたキャンプサイト立て直しの作業に入った。3張のフライは倒れ、ポールは折れ、テントの2張は浸水した。あの雷雨で大変な目に遭ったが、それを乗り切った経験は、スカウト達が今後の活動をしていく上で大きな糧になったことだろう。

私は、指導者としては今回初めてジャンボリー参加でした。今回のジャンボリーは、再来年同じ場所で開催される、第23回世界スカウトジャンボリーを見据えたプレ大会とのことだったが、実験的な環境やプログラムが多く、活動しづらいことも多かった。

一木隊長をはじめ、井上副長、遠藤副長にはとてもお世話になりました。ISTや派遣団の方、保護者の皆様、ご支援ありがとうございました。最後に私の心に残った一木隊長の言葉で締めたい。

「閉会式の花火の感動を忘れないように。あの花火は、ジャンボリーの全日程に参加した者だけが見ることのできるものだ。」

（副長 青木 崇・茂原2）

スカウトの感想

ハゲタカ班

とにかく暑く、汗の止まらないジャンボリーだった。その暑さより私が一番思い出に残っていることは、閉会式で弥栄三唱をしたことだ。サブキャンプから2人、合計12人。1万人近いスカウトの前で、弥栄をしたことは、スカウト最後のジャンボリーだった私にとって、忘れることのできない経験だ。弥栄三唱が終わったあとのコンサートでは、モンゴルの子と一緒に楽しむことができ、少しだけ世界ジャンボリーに戻った気分だった。

(井原 綾子・市原6)

私が第16回日本ジャンボリー(16NJ)に参加しようと思ったのは第15回日本ジャンボリー(15NJ)がとても楽しく、いい経験になったからです。今回の日本ジャンボリーの目標は2回目の日本ジャンボリーをとことん楽しむでした。他の派遣隊の人や、他の国の人などとたくさん交流でき名刺も百枚以上交換でき、とても充実した9日間でした。特に印象に残っているのはアリーナショーで、移動の際に突然の豪雨でずぶ濡れになりフライが潰れ、最悪でしたがその日から団結力が上がり残り半分を楽しめました。それは仲間のお陰であり、友の大切さを学びました。2回の日本ジャンボリーの経験を生かし、世界ジャンボリーに行きたいと思いました。

(小泉 由輝・茂原2)

私ははじめから体調が悪くなってしまい帰ってしまいました。だから、参加できたプログラムはサイエンスのみでした。中でも思い出に残ったのは、

中国電力でやった、自転車をこいでリレーをして、カウントが多いチームの優勝というゲームです。みんな力を合わせ、応援をしてがんばったらなんと、優勝出来ました。あと短い間だったけど友達もたくさんでき今は、京都の人ともメールをしています。これからも親交を深めていきたいと思います。次は世界ジャンボリーです。それまでにしっかりと体力をつけて今度は最初から最後までしっかり楽しめたらいいなと思います。

(進藤 由梨花・市原1)



僕は、長いキャンプは初めてだし、ターゲットバッジも少ないし、料理もあまり作れないから、16NJに行くのが、とても憂鬱でした。テント生活は、せまくてたいへんだったけど、仲間とモジュールに参加したり、ショップに行ったりして面白かったです。シャワーも最後の夜以外は毎日浴びれたので良かったです。5日目のアリーナショーの時に、ゲリラ豪雨にあいサイトに帰ってみたら、タープの柱が壊れていたり、地面がぐしゃぐしゃになっていたり大変でした。毎日頑張ったので、閉会式の花火がとってもキレイに見えました。

(平松 陸・市原7)

ぼくはジャンボリーに行く前不安と



心配とワクワクでいっぱいでした。なぜならばジャンボリーが初めてで他の隊と仲良くできるか不安でした。あと山口で大雨が降っていて大丈夫か心配でした。あとどんな事をするのか楽しみでワクワクしました。一番記憶に残っているのはアリーナショーです。行く中とてもすごい雨が降ってきましたがとても良い経験になりました。アリーナショーでは雨をふっとばす勢いで楽しめました。最後の閉会式の時はとても感動的でした。あとライブは自分も立ってもり上がりました。そして最後の花火はとても感動的で達成感がとてもありました。2年後の世界ジャンボリー楽しみです。

(小坂 駿斗・市原3)

今回日本ジャンボリーに参加して人生での大きな思い出になりました。その中で「感動」「喜び」そして「苦難」の連続でした。今年の夏は猛暑で、立っただけで汗がにじみ出てくるようでした。特に楽しかったことが、人と人との交流、コミュニケーションなどといった普段経験できないようなことができ、とてもうれしかったです。外人の方と話したり、少し片言になってしまいましたが良かったです。他にも、サイエンス、GDV(Global Development Village:地球開発村)などといったプログラムがありました。ですが毎日5時間ほどしか寝れずつらかったです。やっぱりこの日本ジャンボリーで学んだことは、普段の生活で、あたりまえだった事にとっても幸福に感じるようになりました。今、こうしてまわりの人に支えられて生きていることに感謝しています。そして、社会に貢献できる人になりたいです。

(岡田 貴大・市原6)

とても濃い9日間だった。初めてのことで、毎日が長いようであっ

会場マップ





という間に過ぎていった。始めの方は不安でいっぱい、馴染めなかったけど、「笑顔」を作るように心がけたことで優しい先輩や気の合う友達もできた。そして今、あの9日間を「宝」だと思えることもできた。だから私は笑顔と、笑顔にさせてくれた仲間やリーダーに感謝したい。そして次は、私が笑顔を届ける番だ。

(宮崎 陽・市原6)

僕はジャンボリーに初めて参加しました。お母さんは、そこはとても暑くて過酷だから気をつけてといっていました。浜についてから最初に荷物を運んだのですが眠くて僕はうとうとしてしまいました。夜になると空に星がたくさんありました。4日はまさかの豪雨になりずぶぬれになってしまい、ほんとうに大変な雨でした。僕はこの9日間の時間が短く感じました。次のジャンボリーもまた参加したいです。

(花房 大地・市原3)

新幹線で広島まで行き、山口県きらら浜に到着しました。千葉とは違い、とても暑くて嫌いでした。1日目は、設営で終わりました。2日目は、開会式の後シャワーを浴びに行くと、福岡2隊のスカウトと早速友達になりました。アリーナショーでは、皇太子さまがいらしてお話をされました。僕にとって、初めてのジャンボリー、辛い事もあったけど次は、世界ジャンボリーに是非参加したいです。

(石垣 竜太・市原5)

ライオン班

15NJとは違い、年の離れたスカウト隊とのジャンボリーで最初は班員や隊の人と仲良くやっていたのか不安でした。しかし、自分の班員はちゃんと動いてくれて班長として未熟な自分でしたが本当に助けられました。今回、たくさんの人と話したくさんの物に触れたことで大きく成長することが出来ました。準備や片づけでみんなに負担をかけてしまい申し訳なかったですが、その分をこれからの活動で補っていこうと思います。情けない班長でしたがついてきてくれた班員に感謝しています。

(吉澤 航・市原3)

16NJで私は、いつも使っている「A型テント」ではなく「ドーム型テント」などを使いましたドーム型テントは、A型と違って、建てるのも楽でよかったし寝心地も良かったです。他の隊の人との交流もできて良かったけど外国人とも、もっと交流出来たら良かったなと思いました。これから、一級や菊章を取れるようにがんばりたいです。

(中村 悠莉・大網白里1)

16NJに参加して、やはり予想通り暑かった。それに、みんなとなじめなかった。配給係は朝5時に起きていくのでつらかった。でも、そんなことばかりじゃなかった！でも、アリーナショーの時の雨でテントが浸水してなかったでみんなと「奇跡だ！」と叫んでよろこんだ。後々分かったことだが遠藤さんがテントの窓を閉めとてくれたおかげだと分かった。遠藤さん

ありがとうございました。

(樋口 信耀・市原3)

第16回日本ジャンボリーに行つて交流や買い物、などをして楽しかったです。会場がめっちゃ広いことにびっくりしました。会場の中を歩いているだけなのにつかれました。ほくは、この日本ジャンボリーが、楽しくそれにいい経験になったのでつぎの世界ジャンボリーにもいきたいです。

(渡辺 圭・茂原2)

私は今回のジャンボリーでたくさんの良い経験が出来ました。その中で一番うれしかったのは仲間との出会いです。一緒に行った11隊の仲間はもちろん、他の都道府県や国の仲間と話すことは普段出来ません。今回のジャンボリーの思い出は私の中にずっと残ると思います。1万5千人の仲間と過ごせた9日間は私の一生の宝物です。

(小西 あかり・市原7)

今回、初めてジャンボリーに参加していろいろな経験ができました。たくさんスカウトと交流したり、いろいろな文化を学んだり、友達もたくさんできました。唯一、苦しかったのは突然のゲリラ豪雨と毎日の異常な暑さです。ジャンボリーの9日間は長いようで、すごく短く感じました。ぜひ第23回世界ジャンボリーにも2年後また参加したいです。

(山口 浩輔・市原7)

僕が第16回日本ジャンボリーに行つて楽しかったことは、開会式と閉会式です。開会式と閉会式のやるア



リーナは、とても遠くて歩くのが大変でしたが、それでもとても楽しかったです。閉会式のなついろのライブの時はみんなで肩を組んで歌を歌ったことがとても楽しかったです。あと、一番最後の花火は帰ってきてから動画で見なければやっぱり生で仲間と一緒に見る方がずっといいなと思いました。最後に第16回日本ジャンボリーに参加した仲間ともう一度ジャンボリーに参加できたらいいなと僕は思います。

(常世田 尚志・市原1)



ぼくは、ジャンボリーに行っても楽しい思い出がたくさんできました。行く前までは、遠い所での長いキャンプに不安でいっぱい、あまり行きたくありませんでした。でも行ってみると友達もたくさんで他の県の仲間とワッペンを交換するなど普段はできない活動にワクワクの連続でした。そして最終日、閉会式で見た花火はとても感動しました。ボーイスカウトを続けていてこのジャンボリーに参加できて本当によかったです。

(一関 崇仁・市原3)

私はジャンボリーで次長を務めました。前回のジャンボリーの経験を生かして班長の手助けをして班員を引っ張っていこうという目標を立てて行きました。キャンプは雨が降ってしまった時が一番大変でした。サイトのフライが倒れてしまい、隊で協力して復旧作業に努めました。隊の人とショップでかき氷を食べたり、他の県の隊と交流するのが楽しかったです。8泊9日のキャンプは長いようで短く、夏のいい思い出になりました。

(花房 彩香・市原3)

ウグイス班

今回のジャンボリーは、自分にとって2回目のジャンボリーでした。班長としての参加なのでボーイ隊の子と

まくできるのかとても心配でしたが、実際に試してみたら打ち解けることができましたのでよかったです。山口県のきらら浜はとても暑い場所でした。千葉とは全然ちがう環境だったのでうまく班員に指示できなくて、うまくできなかったこともありました。

ジャンボリーのプログラムはとても楽しかったです。他の国との交流会のような普段できないような体験もできたのでよかったです。とても大変だったジャンボリーでしたが、閉会式の花火を見て来てよかったなと思いました。とても長くつらくて楽しいジャンボリーでした。この経験を今後の自分の人生に生かしていきたいです。再来年の世界ジャンボリーにも行ってみたいな……。

(北川 健一・市原3)

ぼくは、16NJは、暑かったです。塩あめがおいしかったのが印象に残っています。あと、閉会式が楽しかったです。後ろの方に居て、暗くてよくわからなかったです。あと、花火が楽しかったです。あと、いろいろ楽しかったです。

(大室 琢満・茂原2)

ぼくは、このジャンボリーをとっても楽しみにしていました。なぜかというと、一週間もテントですごくなんて初めてだからです。不安もありながらバスできらら浜に到着したらたくさんのスタッフが迎えてくれてとてもうれしかったです。そして開会式はすごい人でびっくりしました。最初は静かでした。次の日はプログラムでいろんなことをしました。そして、アリーナショーとても楽しすぎてひたすら声を出しました。すごいえらい人も2人来ていてびっくりしました。そして、色々な人と交流してとても、ほうしのサインがネッチリングが増えました。そして苦しかったけど楽しいの方が多いです。同じ隊の人とも仲よくなったし、とてもおもしろかったです。ぼくは協力してくれるスタッフとリーダーと同

じ仲間とジャンボリーに来てる人に感謝しています。そして、世界ジャンボリーは絶対行きます。

(高山 力也・市原1)

僕は今回、ジャンボリーに参加するのがとても不安でした。向こうで、みんなの足手まといにならないかなとか、みんなと仲よくできるかなとか、そういう気持ちでいっぱいでした。けれども、いざ行ってみると、みんながいろいろな作業を、助け合いながらやっていて、自分ではカバーできない所は、友達が助けてくれたり、友達がカバーできない所を自分が助けてあげたり、あらためて、友達の大切をした、だから今回のジャンボリーはすっごく楽しかったし、ためになったと思う。こういう出来事があったからこそ、次の世界ジャンボリーにも、とてもいきたくった。その時は、みんな引っ張っていける、僕はそんな存在になりたい。

(田口 元大・市原6)

初めは、めんどくさそうだから、あまり参加したくありませんでした。けれど、相談したリーダーから「きっと楽しいから、行ってみなよ」と言われたので、参加しました。結隊式では、誰と同じ班かドキドキしましたが、準備キャンプなどで、活動を一緒にしていくうちに、仲良くなっていきました。ジャンボリーが始まってから、色々なプログラムがありました。一番楽しかったプログラムは、8月4日のアリーナショーでした。行く途中でゲリラごう雨にあいました。けど各地区のおどりを見せてもらったり、一緒に





盛り上がったりして、楽しかったです。他にも交流会で、埼玉、東京、岩手のスカウトと交流して、たくさんの友達ができました。毎日が楽しかったし、9日間、共に過ごすうちに、班員みんなが仲良くなりました。仲間の大切さを学びました。このジャンボリーでの経験を生かして、これからの生活を楽しんでいきたいです。

(高橋 友希・市原6)

8泊9日のキャンプ色んな友達ができ、色んなプログラムがあり楽しかったです。朝食・昼食・夕食毎日おいしいごはんでした。ごはん中の班の会話は隊キャンプでは味わえない楽しさがありました。4日目にアーナショーがあり皇太子様や内閣総理大臣が来場してものすごく盛り上がりました。閉会式の最後に“9 Days Jumping”をスカウトみんなで歌ったのが一番の思い出です。その後に花火があがりました。すごくきれいでした。

(宮崎 大輔・茂原2)

私は、今回のジャンボリーで多くのことを学びました。暑さや雨の対策、テントを張る時の工夫点、また、長いキャンプ生活で仲間と協力することの大切さを知ることができました。他にも、違う県の子と友達になれたり、外国のスカウトとも話すことができ、とても充実した日々を送れました。次は2015年の世界ジャンボリー。それに向けて、もっと技能を磨いていきたいと思っています。(渡辺 みなみ・茂原2)

僕は、第16回日本ジャンボリーに7月31日から8月8日に行ってきました。ジャンボリーは、同じ団の人が

「祭りみたいだよ」と言っていたので行きました。ほんとうにまつりみたいだったのでせいいっぱい楽しみました。山口の集中豪雨のせいで女子テントが2張潰れたのは、びっくりしました。帰ってきたら、親に敗残兵みたいといわれて男前になったと言われたのがうれしかったです。

(進士 翔・東金1)

今回のジャンボリーに行こうと思ったのは、やはり前回の第15回日本ジャンボリーがとても楽しかったからです。ベンチャーで次長をやるというのは最初とても驚きましたが、自分の出来てなかった所、甘えている所を見つけられる良い機会だと思いました。そして今回のジャンボリーで二つしたかった事が叶いました。一つは海外のスカウトと少しでも交流することでした。班員やリーダーなどのおかげで少し交流できて嬉しかったです。二つ目は、大集会などで皆と盛り上がる事です。恥ずかしいという気持ちを捨てて思いっきり盛り上がれてとても楽しかったです。今日の日本ジャンボリーを次の世界ジャンボリーに少しでも繋げられたらと思います。(中島 七海・市原6)

イーグル班

私は16NJに参加する前は正直のり気でない部分が気持ちの中にありました。16NJの期間で夏祭りがあったりしてそっちの方に行きたいとも思っていました。でも、行ったらとても楽しくて、最高の思い出になりました。今回自分は班長として参加したのですが、とても大変でした。けれどもその分、自分に得たものがた

くさんあって、自分自身がすこし成長できたので班長として参加できてとてもよかったです。15NJとはまた違った楽しさが16NJにはあって、参加できてとてもよかったです。

(山本 彩恵・市原3)

1日目、朝3時起きだった。夏なのに朝は寒かった。サイトがもしかしたら遠いかも聞いていたが、意外と近かった。2日目、山口の朝がきた。開会式はまあまあ楽しかった。3日目、やはりキャンプ中。5時半起きはきつい。4日目、はじめて物々交換した。ちょっぴりうれしかった。5日目、大雨が降った。6日目、雨の日の次の日はたいへん。7日目、やっとみんなの名前がわかるようになった。8日目、フライなどをかたした。9日目、え！3時半起きでバスの中はみんなZZZモードだった。(白井 貴大・茂原2)



僕は正直、16NJには行きたくありませんでした。夏休みの四分の一のロスは痛手だったし、キャンプ中にたまる塾の宿題とか、そういうことばかり





頭に浮かんで来て、出発前日までは憂うつでした。だけど、実際にキャンプが始まると、とても楽しく、他の団の人との交流もあり、友情が芽生えるようになりました。ジャンボリー後半は、逆に最終日が近づいてくるのが憂うつに感じました。また、千葉11隊のメンバーでジャンボリーに行きたいと思います。そして、リーダーのみなさん、お世話になりました。

(賢田 雄亮・市原6)



私は16NJで「そなえよつねに」という言葉を身にしてみても実感しました。8月4日に大雨がおこりました。服もすべてぐちゃぐちゃになりました。私たちのテントは、風通しが悪く、フライをしていませんでした。そのせいでテントは、浸水。荷物もびしょびしょでした。この時、フライをしてでかければ・・・きちんと雨にそなえていれば。このことで「そなえよつねに」の言葉の大切さがわかりました。

(大重 奈津・市原6)

私が今回の日本ジャンボリーで驚いたことは、いつものキャンプとは全然ちがったことです。まず、外国の人がたくさんいて、交流がたくさんできとてもよかったです。また、ふつう

のキャンプとはちがいが、ほかの団の人と一緒に行動することができ、思ったより楽しくジャンボリーを過ごすことができました。また、このようなジャンボリーなどに、行けるといいます。(中村 英莉・大網白里1)

僕はジャンボリーに行ったら最初は、みんなと仲良くできるか不安でした。でもあの暑さの中みんなと協力して、やり切る事ができました。4日の雨も団結してやりぬく事ができました。今回の16NJで出会った仲間とはこれからも仲良くしたいし2年後の世界ジャンボリーで会いたいと思います。

(長嶋 亨・市原1)

僕はボーイスカウトに上進してから、キャンプが大好きになりました。1泊2日のキャンプをやっているうちに、1週間以上の長期キャンプがやりたくなったのでジャンボリーに行くことにしました。とても楽しみでした。ジャンボリーに行ったら来て、ただのキャンプではないことを実感しました。他の県や外国の人たちと仲良くなるチャンスでした。実際に名刺を交換したりサインをもらったりして、たくさんの人と知り合えて良かったです。



一番楽しかったのは、開会式・アーリーナショー・閉会式でした。閉会式の花火はとても感動的でした。こんなに楽しい経験は他にないと思います。この経験を活かして、これからのスカウト活動もみんなと協力して楽しくやりたいです。そして、下の代のスカウトたちにもこの経験をして欲しいです。

(田村 優・市原6)

僕はこんなに楽しくて長いキャンプは初めてでした。でも、大変なこともありました。雨が降ってテントが浸水したり、土が粘土質で汚水が排水されなかったりしました。でも楽しいことのほうが何十倍もありました。ありすぎて200字じゃすまなくらい。その中でも楽しかったのが帽子にサインをもらうことです。30人くらいもらいました。この帽子は一生の宝物になるでしょう。

(作田 匠海・東金1)



私はジャンボリー経験者でしたが、前回のジャンボリーとは全てがちがうキャンプ生活だったと思いました。前は班員として行きましたが今回は次長という一歩上の役割でやり、新しい楽しさもありそして大変さも知りました。あとは今回のキャンプ場は埋め立て地で日をさえぎる物が何もなく熱中症でたおれてしまう人が多く出てしまいました。ですがみんながんばって暑さと戦いました。そして私が一番心にのこっているのは、夜みんなで話ながら星を見たことです。むこうはほんとうに星がよく見れました。今回のジャンボリーは私の心に残ったいいキャンプでした。仲間と食事をしたり、シャワーをあびたり、色々なプログラムをこなしたり暑いテントの中で寝たり、でっかい花火見たり、長いようで短かったキャンプでした。

(稲村 裕雅・市原3)



IST 参加スカウトの感想

私は山口県のきらら浜で行われた第16回日本ジャンボリーに参加してきました。今回は参加隊ではなくISTとして参加しました。参加隊としてプログラムに参加するのは違い、プログラムを運営する側で、また違った楽しみがありました。例えば、業務が終われば基本的に自由なので、各モジュールを回ったり、浜辺でビーチバレーをしたりと仲間との思い出作りがたくさんできました。業務自体はたいしたことはなかったです。二年後、またきらら浜で第23回世界スカウトジャンボリーが行われるので、二年後もきらら浜へ行きたいです。ジャンボリー、最高！！
(粟生 直人・東金1)

私は外国人スカウトと交流するという目的で16NJにベンチャースカウトISTとして参加しました。ジャンボリー期間中の前半の業務はカルチャーでペットボトルフルートを作って参加班で演奏してもらおうというを行いました。インドネシアのスカウトたちが来てくれて、ダンスと歌を教えてもらいました。またメッセージ・オブ・ピースの所にいた外国の人と仲良くなれて、とても楽しかったです。自分が英語で伝えようとしていることを相手が理解してくれるので、こちらも気軽に話しかけることができました。また一緒に働いていたローバーや友達フォローしてくれたので、長いジャンボリーを楽しむことができました。今

回の経験をこれからのスカウト活動に生かしたいと思います。

(霞 綺花・東金1)

私は7月29日～8月9日まで第16回日本ジャンボリーに参加しました。今回は第23回世界スカウトジャンボリーのプレ大会ということで、世界中からたくさんのスカウトが参加しました。私はISTとしての参加だったのでプログラムを楽しむことはできませんでしたが、スタッフとして運営することには、参加者とは違う楽しみがありました。私は前半の業務がCRC(Cross Road of Culture:文化の交差点)のゲートの係で、後半は安全・救護部でした。前半の業務はゲートで判子を押すことで、いろいろな外国の人と交流できて良かったです。また後半の業務でも、たくさん交流ができて良かったです。今回の16NJでとても良い経験ができたので、次回の第23回世界スカウトジャンボリーに参加してさらに経験を積みたいと思いました。

(江本 啓介・東金1)

僕はこの16NJで初めてジャンボリーに参加しました。今まで行ったキャンプで最も長いのが3泊4日だったので様々な面で不安がありましたが、いざ始まるとそんな心配は吹っ飛び、楽しく、充実した11泊12日を送ることができました。ところで皆さんはISTの人が何をしているか、ご存知でしょうか。簡単に説明すると参加隊の方がジャンボリーを楽しめるようにする仕事です。2015年には16NJと

同じきらら浜で第23回世界スカウトジャンボリーがあります。僕は今、高校1年生なので世界ジャンボリーの時は高校3年生となり受験生になってしまうので参加できるか分かりませんが、今の気持ちは絶対に行きたい！

(千葉県連盟ベンチャースカウトIST
副議長 加藤 哲志・市原6)

初め東京駅に着いた時は、知らない人ばかりで仲良くなれるのか、これから12日間どうしたらいいのかなんて思っていました。会場に着くころには、同じ班の人とは少し話せるようになったので良かったです。しかし、ベンチャースカウトISTのユニット分けて私を含め4人だけ違うユニットになってしまい更に不安でした。でも今思うとそのおかげで3人とたくさん話せましたし、色々な県の人が混ざっていたのでその人たちとも仲良くなれました。私と似ているからって姉妹だって言われる子にも出会えました(笑)。同じ千葉県内でもあまり出会う機会が無い人たちと出会えました。これからも仲良くしていきたいです。16NJは最高の思い出になりました。本当に、本当に楽しかったです。(溝田 藍・市原6)

※ISTは国際サービスチームの英語名の略で、世界スカウトジャンボリーの運営にならったものです。ISTは外国隊の対応や通訳の方を対象としたものではなく、広く従来の大会本部要員を指す用語です。



第23回世界スカウトジャンボリー
2015年7月28日～8月8日
山口市阿知須・きらら浜

上総地区くまスカウト集会

平成25年6月8日(土)～9日(日) 上総地区くまスカウト集会が開催されました。地区のくまスカウトの仲間が一同に集まり、楽しい時間を過ごす場であると同時に、ボーイスカウト隊へ憧れと期待をもって上進することに繋げることを目的としています。今年の場所は、昔定宿としていた「月出野外活動施設」で10年ぶりに実施しました。その江戸道をハイキングすることから「上総道五十三次」のテーマで、スカウト19人、リーダー42人及び行事委員5人の援助を含め総勢66人でした。

1日目 組集会での組旗作りと竹水筒の工作は、全員で意見を出し合うまく出来、また、初めてのテント設営は実演をしながらスムーズに行きました。夕食はスカウト全員で作業し飯合炊飯も良く出来、あつと言う間にカレーが出来上がりビックリ。とても美味しかったです。



キャンプファイヤーは各組楽しいスタンツと元気な歌で集い、ヤーンで見上げた北斗七星は忘れられない思い出になりました。

2日目 各ポイントでは、テーマに沿ったサムライの仮衣装でのゲームでスカウトは心から楽しんでいて、消しゴムスタンプの通行手形を押しもらい良い記念になりました。

このくま集会で新しい友達を土産にまたの再会を約束して帰って行きました。

(実行委員長 時田 昌邦・市原1)

市原第1団としては、ほく1人での参加となり、不安いっぱい朝でした。開

会の旗手をやり、そのあと、トラ班にきまり、ほかの団のくまスカウトと、いっしょになりすぐに仲よくなりました。今回は初めてのテント泊ということでみんなといっしょにせつえいから始めました。テントの中での寝袋での寝ごちはわりとよく眠れましたが、みんなのおしゃべりもあり、なかなか楽しいものでした。キャンプファイヤーも初めてであったスカウトたちですがとても楽しくできたと思います。今年の夏でカブスカウトも最後ですが、これからもスカウト活動を楽しんでいきたいと思っています。これからも見守ってください。

(高山 大和・市原1)

日本ボーイスカウト千葉県連盟上総地区

千葉県内にはボーイスカウトの115個団の団があり、7,293人(平成25年6月現在)が活動しています。また、県内を11地区に分け、我が上総地区もこの11の地区の一つです。

上総地区には8個の団が所属しています。

団名	活動地域	入団等問合せ先	電話番号
市原第1団	市原市八幡宿、五井周辺	田中 秀近	0436-21-3840
市原第3団	市原市国分寺台周辺	河崎 哲夫	0436-43-2226
市原第5団	市原市牛久周辺	藤代 良彦	0436-92-0034
市原第6団	市原市辰巳台周辺	齋藤 敏子	0436-75-0392
市原第7団	市原市姉崎周辺	菊池 由紀	0436-62-4004
茂原第2団	茂原市、長生郡周辺	青木 勇	0475-23-9239
東金第1団	東金市、山武市、山武郡周辺	山下 博行	0475-55-0204
大網白里第1団	大網白里市、白子町周辺	奥貫 誠	0475-72-7988